

「認知症サポーター養成講座」受講者の声

「やさしく言葉をかけたり、手をかしたりする人が町中にいれば、認知症の人も安心して暮らしていけることが分かりました。」(小学生)

「失敗を怒ったり、否定したりしてもっと不安にさせないように、思いやっていくのが大切なんだと思いました。」(小学生)

「認知症のことを知っている人がもっと増えると良い。」(中学生)

「認知症の方のいろいろな行動には、理由があることが分かった。これからは、なぜそのような行動をとったのだろうと考えてみようと思った。」(中学生)

「毎日同じ物を買いくるお客様にゆっくり話しかけたり、地域包括支援センターに相談したりしています。」(スーパー店員)

「認知症サポーター養成講座は、認知症を周知し、理解をしてもらうためにとても良いと思います。これからも機会があれば回を重ねていきたいです。」(寺院住職)

「定期的に認知症サポーター養成講座を受講しています。店頭にはオレンジロバのシールを貼って、サポーターがいることをPRしています。」(市内信用金庫)

